

# 学級会を開こう！

～充実した楽しい学級生活づくりを目指して～

平成24年10月11日発行

10月も中旬となり、1年間の折り返し点を過ぎました。先生方は、学校行事等で忙しい毎日を過ごされていることでしょう。



そんな時こそ、子どもたちに寄り添い、ともに活動しましょう。普段見えない子どもたちの姿が見えてきます。ともに成長するチャンスです。

今回は、子どもたちが自治的な話し合いを通して、充実した楽しい学級や学校の生活づくりを進める「学級会」について紹介します。

⇒ 関連資料 学級経営講座5

[「子どもたちとのかかわり、子どもたち同士のかかわりを深めよう」](#)

＜自分もよく みんなもよいように＞折り合いをつける話し合いが「学級会」です。

「学級会」とは、子どもたちが自発的、自治的に学級や学校の生活の充実と向上に関する諸問題を話し合って解決する活動です。

特別活動の学習指導要領では、「特によりよい人間関係を築く力、社会に参画する態度や自治的能力の育成を重視する。（解説書 小、中 P3）」ことが、改善の基本方針です。

《小学校》

「学級や学校の生活づくり」については、

○自らよりよい生活を築くために合意形成をする話し合い活動

○自分たちがルールをつくって守る活動

などを一層重視する。（解説書 小学校 P3）

《中学校》

「よりよい生活を築くための諸活動の充実」のために、

○集団としての意見をまとめるなどの話し合い活動を充実する。

○自分たちできまりをつくって守る活動を充実する。

○人間関係を形成する力を養う活動を充実する。（解説書 中学校 P52～54）



背面黒板を利用した学級活動コーナー例

先生方は、学級会を開いていますか？

充実した楽しい学級や学校の生活を送ることができるよう、計画的に学級会を開きましょう。

●「学級会で大切なこと」

☆折り合いをつけること。(合意形成)

☆集団決定したことを、みんなで実践すること。

この2つのことの大切さが実感できるよう、指導していきます。

●「自治的な話し合い活動(学級会)での指導」

「意見を出し合う」⇒「比べる」⇒「決める」

の一連の話し合いの流れを、繰り返し経験できるようにしましょう。



【具体的な支援例】

○それぞれの考えの違いやよさを比べやすくするために

「似た意見をまとめよう。」

「いくつかに分類してみよう。」

○建設的な話し合いにするために

「相手の意見を尊重した言い方をしよう。」

「ただ反対でなく、問題点を指摘して改善を求めよう。」

「折り合うためには、少し譲って、相手の意見を取り入れるようにしよう。」

○多様な意見を生かす話し合いにするために

「それぞれのいいところを合わせよう。」

「指摘された問題について、改善点を示そう。」

「絶対賛成ではなくても、条件付きで賛成しよう。」

「両方のいいところを取り出して、全く新しい考えを生み出そう。」



「自分もよく、みんなもよいようにするためにはどうしたらよいか」といった、実践目標を決定する集団活動に取り組み、折り合いをつける話し合いの経験を豊かにすることが大切です。

次号では、「学級会」の開き方、進め方等について、紹介します。



1年間のストーリーをえがく学級の歩みの掲示例

<参考資料等> 「視学官・教科調査官の【講義ノート】『自治的な話し合いの充実』」  
 杉田 洋(国立教育政策所教育課程調査官) 内外教育 2012年9月18日号  
 「やき先生の特別活動講座『学級会で子どもを育てる』」  
 宮川 八岐(國學院大學人間開発部教授) 文溪社  
 「白岡市立菁莪小学校の実践」を参考にさせていただきました。